

優秀賞：タスクシフト・多職種連携部門

所在地：愛媛県四国中央市
 病床数：257床
 従業員数：542人（うち看護職員数230人）
 入院基本料看護配置：急性期一般入院基本料1

社会医療法人石川記念会 HITO病院

病棟薬剤師との役割委譲・協働による病棟薬剤管理業務の見直し

取組のきっかけ

- 病棟の薬剤管理業務について、特に夜間勤務の業務開始前に患者の薬の配薬準備に時間を要するため、看護師の始業前出勤（時間外勤務）が慣例化していた
- 薬剤管理、準備、配薬に関するインシデントが繰り返し発生していた
- 薬剤師としても、患者との距離を感じており、患者への薬剤指導等、薬剤師の専門性を発揮した業務について、課題を感じていた

主な取組内容

- 業務効率化の目的、目標の明確化
 - 看護部長および薬剤部長の双方で調整の上、薬剤管理業務にかかる看護師・薬剤師の業務効率化の目的を以下の通り明確化し、業務改善のための対応を進めることとした

業務効率化の目的

- 病棟薬剤管理業務内容を明確にし、看護師・薬剤師が専門性に応じた役割を実践する
- 職種間の業務連携や情報共有を推進し、安全・安心な薬剤管理業務を実践する

業務効率化の目標

- 薬剤師は薬剤管理を、看護師は患者への配薬を適切に行う

- 病棟薬剤管理業務の洗い出しと看護師・薬剤師の業務の明確化（看護師から薬剤師への役割委譲）
 - 看護部長および薬剤部長の主導のもと、看護師が行う薬剤管理業務の洗い出しを行い、看護師から薬剤師に委譲可能な業務を明確に定義した

<取り組み後の看護師の業務>

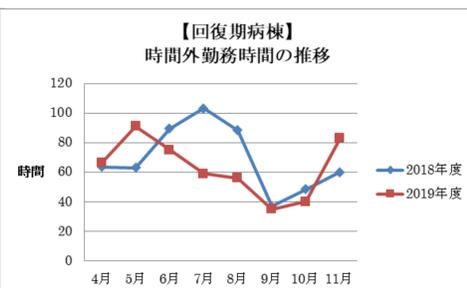
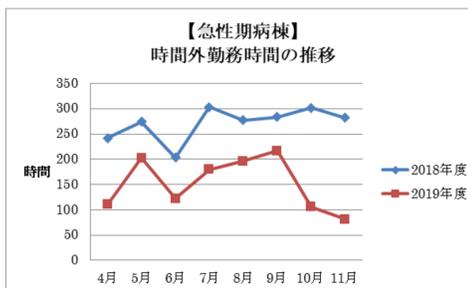
- 各勤務帯で、担当看護師が、指示簿と薬剤を確認したうえで、病棟管理の内服薬を薬剤管理庫から取り出す
- 医師からの指示で、追加薬剤処方や中止薬の情報を、病棟薬剤師に業務連絡する

<看護師から委譲された薬剤師の業務>

- 病棟管理の内服薬（約30名）を、薬剤管理庫に患者別・1週間分セット（1回配薬box使用）する
- 追加処方薬・中止薬は、医師の指示に基づき、薬剤管理庫に患者別に整理する
- 病棟常備薬・救急カート薬剤・麻薬について、使用期限・定数等を1日1回点検する

取組の成果と効果

- 看護師から薬剤師への役割委譲により、看護師の病棟薬剤管理業務にかかる時間が減少した
- 看護師の時間外勤務時間が減少した



<勤務帯における病棟薬剤管理業務時間数>

	【急性期病棟】		【回復期リハビリ病棟】	
	日勤	夜勤	日勤	夜勤
取組前	63分	129分	135分	74分
取組後	19分 減少!	21分	53分 減少!	44分
差(効果)	44分	108分	82分	30分

<薬剤インシデント報告数（1カ月分）>

	【急性期病棟】		【回復期リハビリ病棟】	
	薬剤管理	配薬	薬剤管理	配薬
取組前	8件	5件	12件	8件
取組後	0件 減少!	2件	2件 減少!	3件
差(効果)	8件	3件	10件	5件

- 薬剤に関するインシデント発生数が減少した
- 看護師が役割委譲によって得られた時間を活用し、ベッドサイド訪室時間を20分早めることができた



看護職員

- 病棟薬剤師との連携が強くなり、薬の情報などを薬剤師に気軽に質問できるようになった
- 病棟薬剤師と看護師が協働することで、病棟管理から自己管理への移行をスムーズにでき、患者の自己管理が実現できるようになった



病院外観